



2009 環境報告書

Environmental Report 2009

兵神裝備株式会社

第1章 概要

ごあいさつ	1
環境方針	2
環境への影響	3
環境目的・目標と実績	4
プラスの環境目的・目標と実績	4

第2章 環境マネジメントシステム

環境管理体制	5
監査結果	6

第3章 環境負荷低減への活動

滋賀工場の省エネ取り組み	7
「環境の日」イベント開催	8
省エネ診断の実施(滋賀工場・本社)	9
環境に配慮した展示車の制作	9

第4章 地域社会とのコミュニケーション

日本赤十字社から「金色有功章」	10
中国・四川大地震の被災者に義援金	10
郡地方教育委員会その他のご来訪	10
高月町に創業者の著書などを贈呈	11
兵庫工業高校に学生向け英語新聞の提供を始める	11

第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

環境パフォーマンス実績表(本社)	12
環境パフォーマンス実績表(営業部)	13
環境パフォーマンス実績表(滋賀工場)	14

環境保全活動のあゆみ 15**アンケート****編集方針・報告書の範囲**

編集方針	「環境報告書2009」は、環境省が発行した「環境報告書ガイドライン」を参考に編集しています。また、環境目的・目標や具体的な取り組み状況、サイト別の環境パフォーマンスについては、できるだけ写真やグラフを活用いたしました。
対象期間	2008年度(2008年1月1日～2008年12月31日)
対象範囲	この環境報告書は、下記事業所すべてを対象範囲としています。 ■兵神装備株式会社 本社、滋賀工場、技術研究所、サービスアネックス、東京支店、大阪支店、北関東営業所、名古屋営業所、福岡営業所 ■ハイシンテクノベルク株式会社 本社、滋賀工場
発行部署	兵神装備株式会社 全社環境事務局 〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町1-1-54 TEL:078-652-1111 FAX:078-652-4504
発行日	2010年1月31日(次回発行予定:2010年12月)



兵神装備株式会社

代表取締役社長 小野純夫

2008年は、7月に北海道洞爺湖サミットが開かれ、史上最多22カ国の参加の下、環境・気候変動問題を中心に活発な議論が繰り広げられました。また、10月には、国際連合環境計画(UNEP)が「グローバル・グリーン・ニューディール政策」を提唱し、アメリカをはじめ、先進諸国がこれに沿った政策を検討し始めるなど、低炭素社会へ向けて具体的な動きが始まったことが実感できた年でもありました。

このような状況下、当社におきましては、製造拠点の建屋(天井、窓)や設備(照明、空調)を改めて見直し、職場環境をより快適な方向にシフトしつつも、環境負荷を低減すべく、知恵を絞り様々な工夫をこらしました。また、パール缶から効率良く粘性液を汲み出すポンプシステムを新たに開発・販売し、お客様の作業効率のアップと作業環境の改善を図りました。

他方、近隣の高校への書籍や英字新聞の寄贈、あるいは日本赤十字社の献血活動への協力など、地域社会とのつながりを深める動きも引き続き推進しました。5月には中国四川省で発生した大地震の被災者に向けて義援金を送り、被災地の復興に役立てていただいています。

この報告書をお読みいただくことで、当社の環境保全や社会貢献の取組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

以上

環境理念

当社は、地球環境保全を人類共通の最重要課題と認識し、環境にやさしい製品づくりを通し、事業活動のあらゆる面で、「持続的発展が可能な社会」の構築に貢献いたします。

スローガン

限りある資源を大切に、環境にやさしい製品を創り続けます。

基本方針

当社は、広く産業界で多様なニーズに応えるハイシンモノポンプの開発・生産・販売をしています。

そして、その事業活動において環境に影響を及ぼす可能性を持っています。

私たちは、これらの環境への負荷を削減するだけでなく良い影響を与えるための組織体制・管理システムを確立し、継続的に下記の活動に取り組んでいきます。

1. 下記の項目に目標を設定して取り組み、その達成状況を確認し、状況に応じて改善していきます。

① 廃棄物の削減及び適正処理

廃棄物の削減・分別収集、再利用の促進、適正処理を行います。

② 排水の適正処理

化学物質の適正処理、関連装置の改善により排出物の削減と適正処理に努めます。

③ 資源・エネルギーの効率利用

資源・エネルギーの効率的な利用により環境への負荷を削減し、資源のリサイクル活動・グリーン調達に努めます。

④ 環境にやさしい製品の設計・開発

有害物質を排除した製品や省エネ、長寿命化製品の設計・開発に努めます。

⑤ 環境製品の販売促進活動

省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売促進に努めます。

2. 環境法令・条例・協定、その他当社が受入を決めた要求事項に関し、社内自主基準を定め、徹底遵守いたします。

3. 環境教育、広報活動を行い、全社員が環境方針を理解し、環境保全意識の向上を図るよう努めます。

4. 緊急事態発生時の環境汚染被害を最小限にするため、予防・緊急時対応に万全を期します。

5. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、維持・改善に努めます。

2003年1月

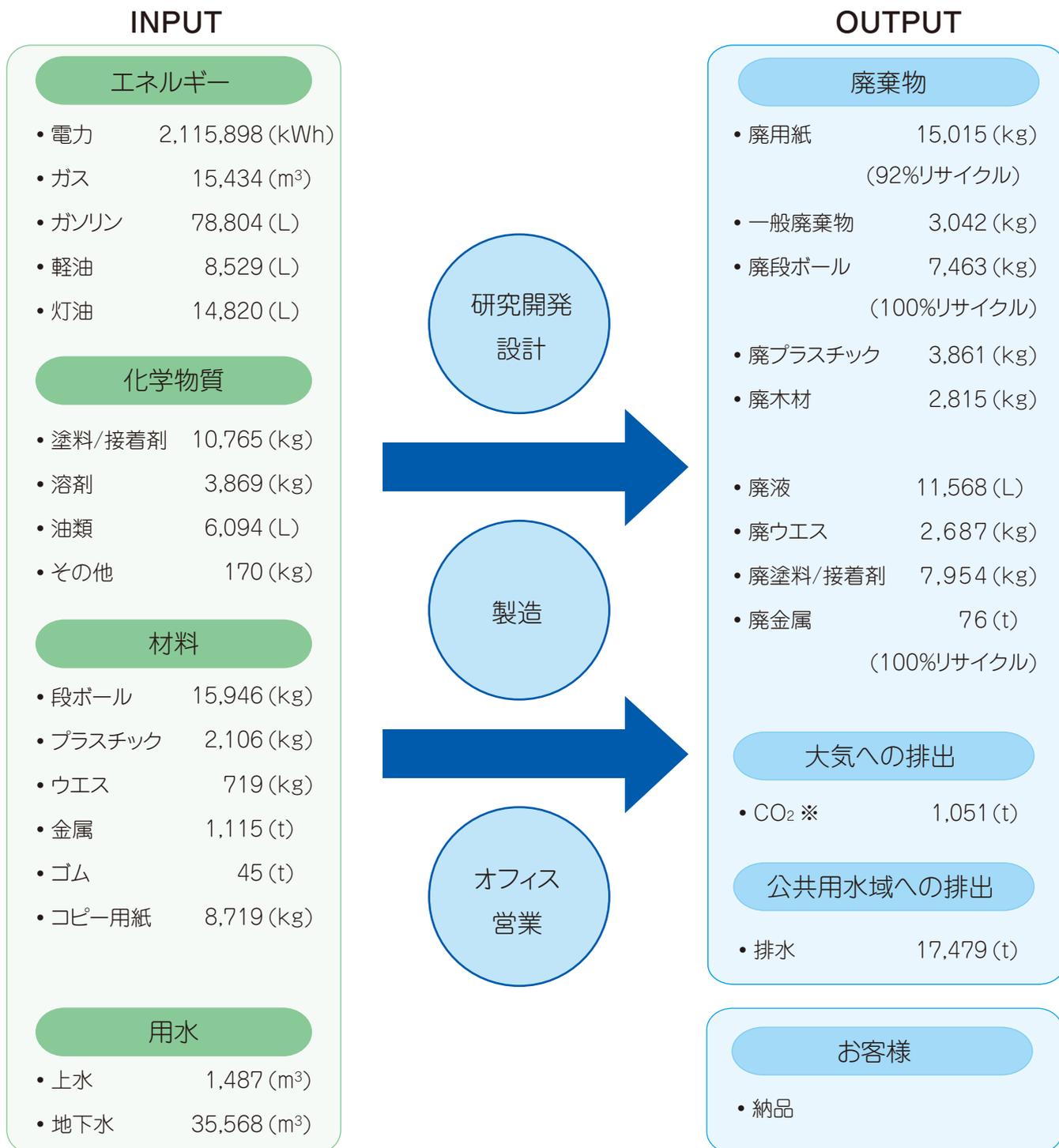
兵神装備株式会社

ハイシノテクノバルク株式会社

代表取締役社長 小野 純夫

当社は、

- 国内唯一の「モノポンプ」専門メーカーとして、その研究開発・設計、製造、販売、メンテナンスサービスを行っています。
- 事業所内での諸活動による環境負荷は、エネルギー消費に伴う二酸化炭素排出、廃液、廃プラ、一般廃棄物が主なものです。
- 省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の管理を活動の柱とし、全社的なあらゆる活動において、環境負荷低減に取り組んでいます。



※CO₂排出量は、昨年までは消費電力量からのみ換算してきましたが、2008年度からは、電力、ガス、ガソリン、軽油、灯油の消費量をすべて換算し、合計しました。
(各換算係数は、環境省ガイドライン、関西電力、大阪ガスのデータを参照しています。)

2008年度行動目的	2008年度目標 (対前年実績度比)	2008年度実績 (対目標比)	評価	2009年度目標 (対2008年度実績比)
無駄な消費電力の削減	2,074,592 kWh (2%削減)	2,115,898 kWh (2%増加)	×	2,073,580 kWh (2%削減)

評価 ○:目標(100%)達成 △:達成率70%以上 ×:達成率70%未満
(2008年度目標を100として)

プラスの環境目的・目標と実績

今年も昨年に引き続き、省エネルギー・省資源・長寿命化製品の開発・設計・製造・販売を推進しました。

■ハイシンドラムポンプシステム ペールシリーズ 新発売



ハイシンドラムポンプシステム
ペールシリーズ

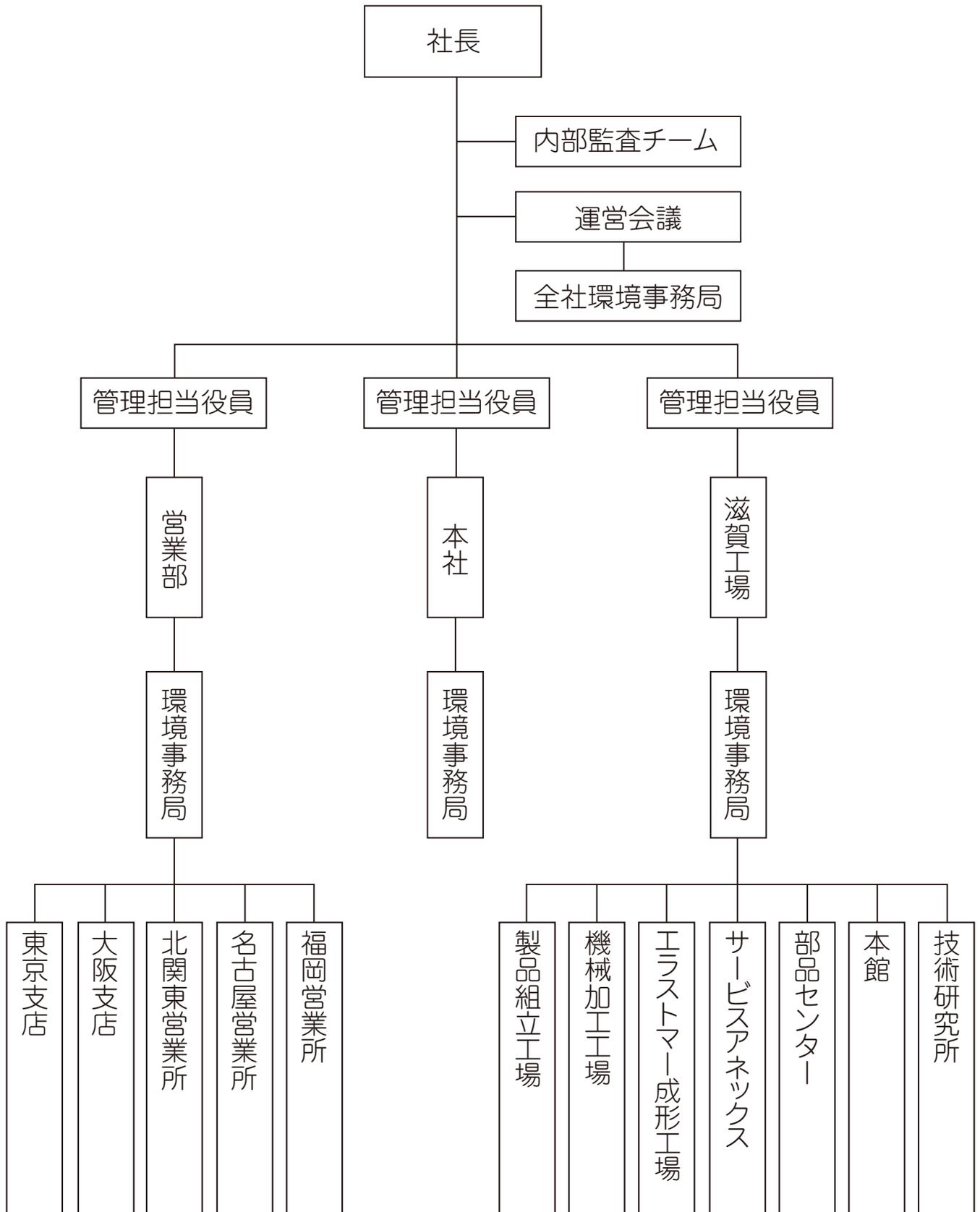
「ハイシンドラムポンプシステム」の新製品、「ペールシリーズ」を発売しました。この製品は、粘性液をペール缶から汲み出すポンプシステムです。主に化学業界や自動車業界において、高粘度のシール剤やグリース等を汲み出す用途で使われています。

通常、このようなシステムでは、ポンプ自体が上下動するため、ポンプの荷重がプレートを通して液面にかかり、それが原因で液漏れを起こし、その液が固まって作業現場を汚すことがありました。

本製品では、ポンプ自体は昇降せずにペール缶を昇降させるという従来とは異なる機構を用いることで、ポンプの荷重が直接液面にかかるのを防ぎ、結果として液漏れをなくし、クリーンな作業環境を実現しました。

■(財)大阪デザインセンターのグッドデザイン商品に選定

3月に発売した、この「ハイシンドラムポンプシステム ペールシリーズ」が、(財)大阪デザインセンターが選定するグッドデザイン商品に選ばれました。(財)大阪デザインセンターは1960年、大阪府・大阪市・大阪商工会議所によって設立された、関西における産業デザインの中心拠点で、グッドデザイン商品の選定を始め、様々なデザイン振興事業を展開しています。グッドデザインは、住・生活環境デザインと工業デザインの2部門で毎年審査が行われており、当社はこのたび工業デザイン部門で選ばれました。本製品におけるペール缶を昇降させる一連の動きは、意匠登録の中でも珍しい「動的意匠」を取得しており、今回はこの動きの独創性や、それによって達成された使いやすさ等が高く評価されました。



当社では、ISO14001マネジメントシステムに基づく社内環境監査チームによる「内部監査」と、外部機関による「外部監査」を毎年実施しています。

● 内部監査

システム監査と遵法監査を重点とした監査を実施しました。

本年も重欠点、軽欠点は共になく、環境管理活動が継続できていることを確認しました。



● 外部監査

2008年7月には、外部機関による、本社、滋賀工場、各支店、各営業所の認証フォロー監査が行われました。大きな問題もなくISO14001マネジメントシステムが運用されているとの判定を受けました。



今年、滋賀工場に導入された環境に優しい各種設備についてご報告します。

● 地下水を利用した空調(技術研究所)

技術研究所の熱射対策として、新たにファンコイルを導入しました。

同研究所は、太陽エネルギーを最大限に利用するべく、北・南・西三面をガラス張りにしています。しかし、窓がなくて外気を取り入れにくい構造のため、熱がこもりやすく、夏場は種々の排熱機器を利用しても、高温・多湿となります。そこで、太陽光の熱気を冷やすため、散水用の井戸水を用いるファンコイルを空調機として導入しました。

ファンコイルは、井戸水で冷えたフィンにファンで空気を送って冷やすものです。井戸水をくみ上げる揚水ポンプと空気を送るファンとの約8kWの電力で済むため、エアコンなら140kWも必要な夏場の冷房を低電力でまかなうことができます。多湿の空気を冷えたフィンに通すことで、室温を下げると同時に除湿効果もあり、電力を大幅に節約しつつ、快適環境を得ることができました。



● トップライト屋根に遮光カーテンを施工(エラストマー成形工場)

エラストマー成形工場のトップライト屋根に、自動開閉式の遮光カーテンが施工されました。また、天井近くの高い位置にある締め切りとなっていたアルミサッシも、地上から手動ハンドルで開閉できるように改造されました。この遮光カーテンは、作業に必要な照度は確保しつつ、遮光率を65%に抑えることができます。このことと、天井付近の熱い空気がアルミサッシの開放によって工場外に排出できるようになったこととの相乗効果で、昨夏は40℃を上回った室温も、今夏は外気温とほぼ同じ程度にまで抑えることができました。



● 天井照明設備の更新(製品組立工場)

製品組立工場(組立場、運転検査場)の天井照明設備が更新されました。この工事は、既設水銀灯700W(72灯)の老朽化に伴う更新を契機に、照明方法の見直しを行い、全体照明(セラミックメタルハライドランプ290W×25灯)と局部照明(蛍光灯)に分け、最適化を図ることを目的に実施されました。これにより省エネ効果は、消費電力で年間26,000kWhが低減しました。



● 「エコ」に配慮したサービス部品梱包場(サービス部品センター)

サービス部品センターの「サービス部品梱包場」が完成しました。これまでは開放空間であったため、冷暖房の効果が出にくい環境でした。新たな梱包場は閉じられた部屋です。夏、冬の作業を快適に行うことができます。

この部品梱包場は、10m×6mの大きさを、「エコ」を目指す部屋として、いくつかの工夫が凝らされています。照明には、全面高輝度LED照明を採用しています。従来の水銀灯照明は、総電力2.4kWもかかっていましたが、LED照明にすることによって0.24kWとなり、1/10の電力で照明を賄うことができます。空調面でも、開放空間でのスポットクーラー、赤外線ヒーターによる無駄の多い空調から、閉じられた部屋でのエアコンによる空調となり、大幅な電力削減ができました。

さらに窓と天井には、熱伝導率がガラスの1/5の透明アクリル板を使用し、採光性と断熱性を上げています。壁には、発泡ポリエチレンをアルミニウムプレートで挟んだパネルを採用することで断熱性をもたせています。



「環境の日」イベント開催

国連人間環境会議を記念して「環境の日」と定められた6月5日を、兵神装備でも「兵神装備環境の日」と定め、様々な環境啓蒙活動を推進していくことになりました。

2008年の第1回目では、滋賀工場において初の環境大会が開催され、40名が参加しました。大会は環境表彰式と松下電工(株)照明事業本部様の講演が行われました。表彰式では、環境活動優秀賞3件、環境活動努力賞2件が表彰されました。また、松下電工(株)様による講演は、LED照明の原理とその環境負荷低減効果をテーマに、約1時間にわたりお話をうかがうことができました。



(財)省エネルギーセンター様による滋賀工場全体のエネルギー診断が6月6日に実施され、各工場棟ごとの省エネ取り組み内容や保有設備の確認が行われました。

後日、診断結果報告書をいただきました。この内容を今後の環境活動にフィードバックしていきます。



環境に配慮した展示車の製作

旧展示車の老朽化に伴い、約6カ月かけて設計・デザイン・制作してきた新展示車が完成しました。

当社では、実際の製品を搭載した展示車でお客様の事業所を訪問し、具体的に製品を動かしてモノポンプの優れた機能を実際に見ていただく、販促活動を展開しています。現場でポンプを使用する方々や導入採用の決定権のある方にも見ていただくため、展示車は非常に有用な営業ツールとなっています。しかし搭載している展示機を動かすためには三相200V、単相100V、圧縮空気を供給する大容量のエンジン発電機が必要です。これまではこの発電機の音がうるさい、排ガスが臭いなどの問題点を抱えていました。

新展示車は、車体シャーシ下に設置出来る米国製のエンジン発電機を2機搭載し、騒音や排ガスの臭いの問題を大幅に改善しました。また、雨の日でも見ていただけるよう自動で開閉する「雨よけ庇」を考案し搭載しています。トラック自体も強化され、総輪エアサスペンションや遠距離用仮眠ベッド、ナビを備え全国を安全に回れるよう配慮されました。



当社は、モノポンプの製造・販売という事業活動を通して社会に貢献していますが、それ以外にも、幅広く社会貢献活動に取り組んでいます。ここでは、そのような活動のいくつかをご紹介します。

● 日本赤十字社から「金色有功章」 — 20年以上の献血活動への協力に

平成20年度「愛の献血感謝のつどい」(主催:滋賀県、日本赤十字社滋賀県支部、滋賀県赤十字血液センター、滋賀県献血協会)が8月5日開かれ、当社は日本赤十字社から「金色有功章」をいただきました。

「金色有功章」は20年以上の献血活動への協力を表彰して贈られるもので、滋賀県下の団体では、当社の他に3社が同章を贈られました。滋賀工場では毎年春と秋の2回、献血活動に協力しています。近年、献血条件が厳しくなり海外旅行などで献血できない従業員が増えている中、毎回30名前後の従業員が一人当たり400ccの献血をしています。



「金色有功章」盾

● 中国・四川大地震の被災者に義援金

中国・四川大地震の被災者に対し、義援金5,000米ドル(約55万円相当)を贈りました。四川大地震は、5月12日に四川省を震源地に発生し、中国国内に大きな被害をもたらしました。義援金は、四川省の北隣に位置する甘粛省(かんしゅくしょう)の赤十字社に届けられ、被災地の復興に役立てられました。

● 郡地方教育委員会その他のご来訪

伊香郡地方教育委員会のメンバー28名が6月2日、滋賀工場を訪問されました。これはメンバーの方々が地元の優良企業を勉強しようと来られたものです。

当日は工場長のご挨拶、会社紹介DVDの上映、工場見学に続いて、①情報共有化と環境への取り組み、②製品開発、③品質活動など、当社の活動の一端をご説明しました。

また、8月28日に滋賀経済産業協会様40名が来られたのをはじめ、9月18日には大阪府工業協会様20名、9月28日には日本製パン業界機械工業会様11名が滋賀工場を見学に来られました。



伊香郡地方教育委員会の皆様

● 高月町に創業者の著書などを贈呈

当社の小野社長が高月町役場を6月10日に訪問し、北村町長に創業者の著書「ひとすじの道」を探して」と35周年記念誌「モノポンプひとすじの道」のセットを贈呈しました。また同日、当社に多くの人材を送っていただいている創業者の出身校でもある長浜北星高等学校にも訪問、同じセットを贈呈しました。これは、当社が40周年を迎えることができたことに感謝し、地元の関係者にも当社をより知っていただくことを行われたものです。



長浜北星高等学校の佐藤教頭先生に「ひとすじの道」を手渡す小野社長

● 兵庫工業高校に学生向け英語新聞の提供を始める

毎日新聞社が出版する週刊英語紙「MAINICHI WEEKLY」を、本社近隣の兵庫県立兵庫工業高等学校に、8月から1年間提供するスポンサーになりました。毎日学生新聞の広報センターが各地の小学校から高校までの学校に学生向け新聞の提供者を募る活動に、当社が地域貢献の一環として賛同したものです。ヘイシンモノポンプの断面図をデザインしたプレートを特別に取り付けた、学生新聞専用ラックを8月20日に同校に持参しました。今回の支援をきっかけに、今後、同校との交流を深めていく予定です。



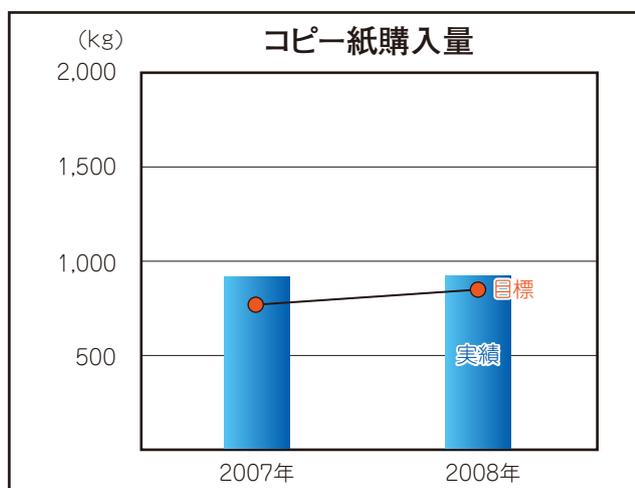
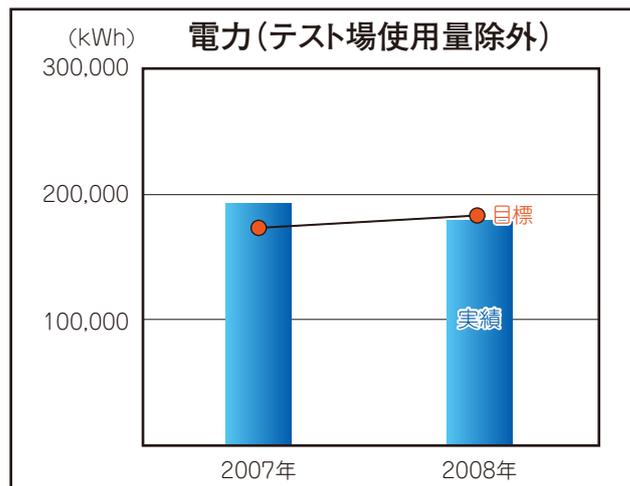
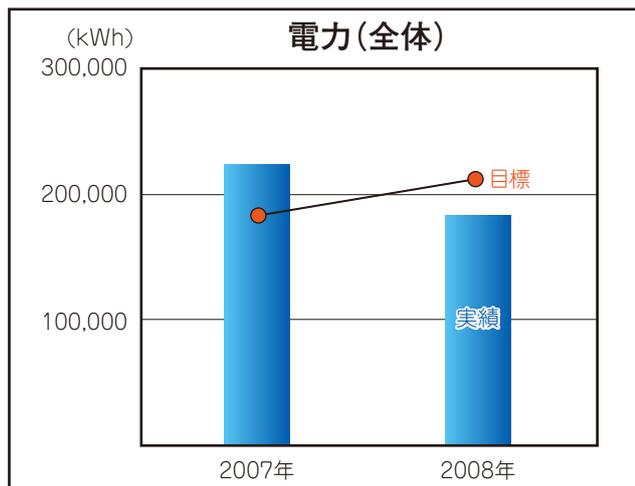
図書室に置かれた学生新聞専用ラック

第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

環境パフォーマンス実績表(本社)

Environmental Report 2009

環境側面	2007年		2008年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)(全体)	186,683	219,509	215,119	186,034
電力(kWh)(テスト場使用量除外)	179,555	191,135	187,312	181,295
コピー紙購入量(kg)	789.3	903.0	857.9	909.0



● 本社での取り組み

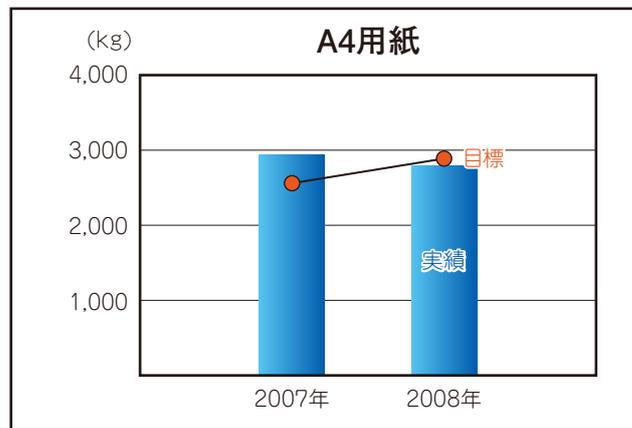
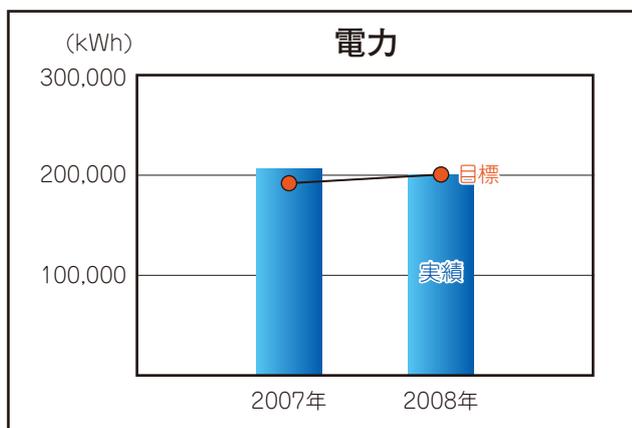
電力の削減については、温暖化の影響で、本社使用量の半分近くを占める空調関係が冬場、低電力で推移したこと、及び作業場の天井灯を水銀灯からメタルハライドランプに変更したことなどにより、目標を達成できました。また、コピー紙購入量については、従来通り裏紙の使用の徹底を図っていますが、社外向け資料を多く印刷したことなどにより前年より若干増加しました。来期は、PDF化の促進などにより、一層の削減を図っていく予定です。

第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

環境パフォーマンス実績表(営業部)

Environmental Report 2009

環境側面	2007年		2008年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	198,188	204,713	200,618	200,260
A4用紙(kg)	2,618.0	3,026.4	2,968.0	2,843.5



● 営業部での取り組み

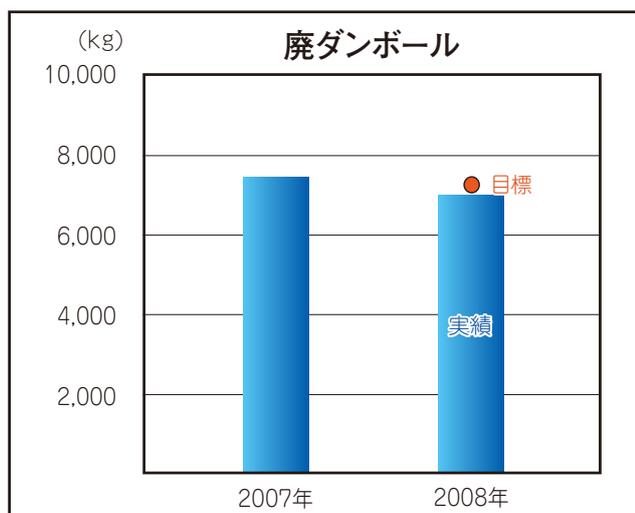
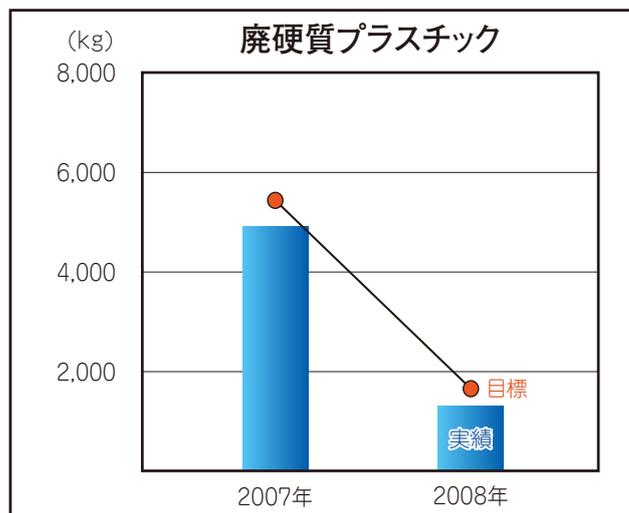
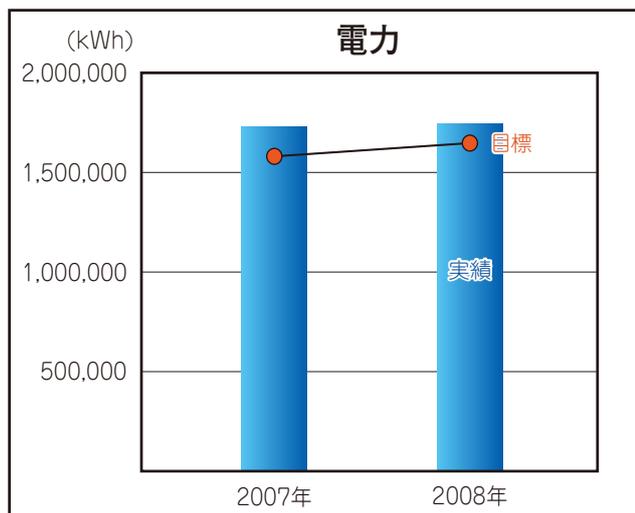
2008年、電力・コピー用紙の削減とともに、目標を達成することができました。
 しかし、その前年の2007年度は目標未達成であり、結果的に目標数字も緩和されていたため、2009年度については、より一層の削減を目指します。

第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

環境パフォーマンス実績表(滋賀工場)

Environmental Report 2009

環境側面	2007年		2008年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	1,580,342	1,721,083	1,686,661	1,734,343
廃硬質プラスチック(kg)	5,439	4,899	1,783	1,591
廃ダンボール(kg)	-	7,407	7,259	7,093



● 滋賀工場での取り組み

電力消費量、廃硬質プラスチック廃棄量、廃ダンボール廃棄量の削減(前年度比2%)を目標としましたが、電力消費量は未達成となりました。

1) 電力

前年度より若干の増加となりました。増加分として、新規設備導入、作業環境改善のための空調設置が要因と考えられます。

2) 廃硬質プラスチック

従来、硬質プラスチックとして処分していた廃棄物を一部(塩ビ製品、金属装着品)を除き、処分業者を変更することでRPFにリサイクル可能となり、大幅な廃棄物削減に繋げることができました。

3) 廃ダンボール

ダンボールの使用頻度が高い協力企業を対象に通箱化、箱運用を開始しました。また、購入先への引き取り化を実施し大幅な削減に繋がりました。

兵神装備の活動

世の中の動き

<ul style="list-style-type: none"> • 滋賀工場ISO14001認証取得に向けたエコプロジェクト発足/環境方針制定 • 滋賀工場ISO14001認定取得 • 環境報告書2001発行 • 全社に拡大してISO14001認定取得を目指すことに決定、全社環境綱領の制定 • 拡張監査・滋賀工場更新審査 • 全社ISO14001認定取得 • 環境報告書2004発行 • 化学物質管理委員会発足 • グリーン調達推進委員会発足、説明会開催 • 化学物質管理規定発行 • 製品/ハイシンロボディスプレイが「グッドデザイン賞・中小企業庁官特別賞」を受賞 • 滋賀工場に環境適合機能を誇る技術研究所を開設 • 環境報告書2005発行 • アスベスト不使用で代替品に切り替え、ホームページでもアスベスト不使用宣言 • ノンタールエポキシ塗料、鉛フリー塗料に切り替え下水道事業団仕様に対応 • 環境報奨規定を制定 • 本社ビルを環境適合機能化ビルにリニューアル • 製品/ハイシンドラムポンプシステムが「グッドデザインひょうご大賞」を受賞

<p>1971</p> <p>1979</p> <p>1987</p> <p>1991</p> <p>1993</p> <p>1995</p> <p>1996</p> <p>1997</p> <p>1998</p> <p>1999</p> <p>2000</p> <p>2001</p> <p>2002</p> <p>2003</p> <p>2004</p> <p>2005</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 環境庁設置 • 省エネルギー法制定 • モントリオール議定書採択/ラムサール条約採択 • 再生資源利用促進法制定 • 環境基本法制定 • 容器包装リサイクル法制定 • 国際環境規格ISO14001発効 • 気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3) 12月に京都にて開催、京都議定書採択 • 環境アセスメント法制定 • 地球温暖化対策推進法制定 • PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律)制定 • 環境型社会形成推進基本法制定 • グリーン購入法制定 • 建設資材リサイクル法制定/食品リサイクル法制定 • 資源有効利用促進法制定 • 環境省発足 • 家電リサイクル法施行 • PRTR法完全施行 • 土壌汚染対策法制定 • エネルギー政策基本法制定 • 地球温暖化対策推進法改正 • WEEE(EU廃電気電子機器リサイクル指令)発効 • RoHS(EU電気電子機器危険物質使用制限指令)発効 • 首都圏ディーゼル車規制施行 • 環境教育推進法施行 • 気候変動枠組条約第10回締結国会議(COP10 アルゼンチン) • 国際環境規格ISO14001-2004年版発行 • 大気汚染防止法改正 • 自動車リサイクル法完全施行 • 京都議定書発効 • 日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県を舞台に開催 • COP11 カナダ・モントリオールで開催
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Q1:この環境報告書をお読みにってどうお感じになりましたか。(1つだけ○をつけてください)

1. 読みやすさはいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

2. 内容はいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

3. 兵神装備の環境問題への取り組みはどう評価されましたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

4. この環境報告書をお読みにって、物足りない内容や改善した方がよい点がありましたら、具体的にお聞かせください。

Q2:兵神装備の環境問題の取り組みについて、どのようなことをご希望されますか?具体的にお聞かせください。

Q3:この環境報告書をどのようなお立場でお読みにっていらっしゃいますか?

- 1.金融・投資関係 2.格付機関 3.行政関係 4.事業所近隣住民 5.製品購買関係 6.環境の専門家
7.報道関係 8.企業の環境担当 9.学生 10.製品ユーザー 11.その他具体的に()

ご協力ありがとうございました。

お差し支えない範囲でご記入をお願いいたします。

(ふりがな)
お名前

ご住所 〒

ご職業・ご勤務先

TEL.

FAX.

E-Mail: